

〈図4-1〉小集団活動を取り入れた指導過程の基本型

段階	活動	個の「よさ」	「よさ」を生かす手だて
課題把握	○課題意識を持つ	◎課題に対する興味・関心 ・事象のとらえ方	◎多様な考えができる課題の提示
解決の見通し	○解決方法を出し合う。 ○よりよい方法を考える。 ○見通しを持つ。	◎自分の考え、ひらめき ○自分の解決方法 ◎自他それぞれの考え ・多様な見方、考え方 ○話し合いへの参加の仕方 ・発表（内容・明確さ） ・協力（小集団の「よさ」） ○班としての追究の仕方	○自分の考えを多く引き出せる具体物の提示 ○自他の考えを区別するノートのとり方、学習プリント ○情報を収集し練る小黒板、画用紙 ○解決の方向性を持つことができる具体物の提示
課題解決	○自力で解決する。 ○話し合い、練り上げる。 ○比較検討し解決する。	○自分の考え、ひらめき ・自分の解決方法 ◎自他それぞれの考え ・多様な見方、考え方 ○話し合いへの参加の仕方 ・発表（内容・明確さ） ・協力（小集団の「よさ」） ○自他の解決方法 ○班としての解決方法 ◎多様な考えの追究（学級集団の「よさ」）	○自分の考えを多く引き出せる具体物の提示 ・学習プリント（完成法） ○自他の考えを区別するノートのとり方、学習プリント ○多様な解決方法を引き出せる小黒板、画用紙 ○比較検討の場の設定
まとめ	○まとめる。	◎自分で分かるまとめ方 ・既習・未習事項の関連	○発展的な課題提示

